

発行  
令和2年  
2月10日  
第84号



発行 者  
長野県下伊那農業高校  
同 窓 会  
TEL(22)5550  
FAX(53)0339  
編集・発行  
同 窓 会 幹 事 会  
印刷 龍 共 印刷

### 母校開校一〇〇周年を 迎えるに当たって

同窓会長 関島伸喜(高13回卒)



同窓の皆様にかかれましては、ご健勝にて新年をお迎えになられた事とお慶び申し上げます。

本年は開校以来百年目という節目の年度を迎えます。

一世紀という長い年月を経て、更に引き続き地域と共に歩み続ける母校下伊那農業高等学校に、同窓生一同心からの敬意を表したいと思います。

かねてより百周年を記念する事業の進捗につきまして、ご報告申し上げてきている処ではありますが、いよいよ四月には当該年度を迎え、実行実現の運びとなつて参ります。

同窓生をはじめ多くの関係者、地域の皆様のご協力を仰ぎ、七千万円余の寄附金を頂き、それを以て各事業を遂行して参ります。

在校生の使用を中心に同窓生も、地域の方々も利用できる学習研修棟の建設につきましては、既に着工一六月には竣工の予定です。農

業農村は幾多の苦難と変遷を経て来ましたが、再び新農業の未来が大きく開かれようとする時代を迎えております。若き後輩たちがここで意欲的に学び、地域に巣立って行く有効な施設になる事を期待しております。

また記念誌編纂も関係者の精力的な努力のもとで、着々と作業が進められてお

ります。既に物故会員となられた方々も含め、一万九千余名に成らんとする卒業生、学校、先生方、また地域の皆様と共に築き上げてきた母校の歴史の集大成となるうかと思ひます。

十月十日には記念式典と共に、中国交流三十周年を祝う行事も組み込み、さらに記念講演、そして祝賀会と、記念事業の主たる行事と位置づけて計画を進めております。多くの皆様のご参加をお願いするところであります。

創立来、毎年の卒業生の石垣が百年にわたつて積み上げられ、下農の城を支えております。在校生の皆さんには是非その重みを感じ、共に喜びを分かち合つてほしいと願うと同時に、新しい下農の「礎」となる第一歩を踏み出してほしいと、同窓生一同大きな期待を寄せる処であります。

同窓生の皆様方の尚一層のご理解ご協力をお願い申し上げますと共に、ご健勝で更なるご活躍を期待申し上げます。ご挨拶と致します。

### 記念事業の進捗と 新たな教育方針

学校長 村澤博富美



一月下旬には、施工業者神稲建設様、実行委員、校友会生徒、職員が参加し、農業学習施設の起工式を執り行い、同窓生の皆様の母校に寄せる熱い想いが、後世に残る目に見える形として動き始めました。

実施年度の今年は、四月に開校記念行事、六月に農業学習施設完成、十月十日に記念式典・記念講演会(医師作家 鎌田實さん)・祝賀会、稲丘祭記念講演会(三四六さん)、その他にも、百周年記念碑の建立、新規校名板の設置を予定しておりますので関心をお寄せい

ただければ幸いです。

ところで、本県では第二期再編と学びの改革の推進、さらに新学習指導要領への移行も重なり、各高校が三つの教育方針とブランドデザインを策定・公表し、魅力ある質の高い教育を展開すべく動いています。

本校でも、百年の節目と時を同じくして、今までの農業教育の成果を振り返り、新たなスタートを切るための教育方針について検討を重ねてきました。

その結果、学校評議員のご意見も参考にしながら、新しい教育方針を、次のとおり決めました。教育入口ーガンは、『豊かな人間性を育むいのちの教育』です。生徒育成方針は、①「いのちに触れ、いのちを育み、

いのちに学ぶ」教育を通して、豊かな感性と人間性を育み、生きる力をもつ生徒を育成する。②「農業を学ぶ」「農業で学ぶ」ことを通して、思考力・創造力・活用力を培うとともに、実践的な課題解決力を育み、未来に向け、学び続ける姿勢を持つ人材を育成する。③地域の農業高校として、農業各分野の未来を担う人材と地域で活躍する人材を育成する。の三つとしました。

ここでは、教育課程編成・実施方針と生徒募集方針は省略しますが、開学以来の「質実・剛健」「誠実・堪能」「積極・真摯」の校訓を堅持し、これからも有為な地域人材の育成に貢献していくことには変わりありません。

農業を通して学ぶことの教育的意義や、心の教育を含めた豊かな人間形成の場であることを再認識し、今後とも教育の動きに注視し、社会や技術の進歩に柔軟に対応しながら、下農としての真価を磨き、持続可能なあり方を模索していきたいと考えております。

これからも、同窓生の皆様から愛される母校として、地域に根ざし、地域から親しまれ、地域に貢献できる学校でありたい続けたいと願いつつ、ご挨拶とさせていただきます。

た、ただければ幸いです。

ところで、本県では第二期再編と学びの改革の推進、さらに新学習指導要領への移行も重なり、各高校が三つの教育方針とブランドデザインを策定・公表し、魅力ある質の高い教育を展開すべく動いています。

本校でも、百年の節目と時を同じくして、今までの農業教育の成果を振り返り、新たなスタートを切るための教育方針について検討を重ねてきました。

その結果、学校評議員のご意見も参考にしながら、新しい教育方針を、次のとおり決めました。教育入口ーガンは、『豊かな人間性を育むいのちの教育』です。生徒育成方針は、①「いのちに触れ、いのちを育み、

# 稲穂会マレットゴルフ大会

稲穂会会長 永坂 裕子 (高20回卒)

梅雨入りし雨が心配でしたが朝には止んだ空のもと四十一名の参加をいただき今年も松川清流苑にて第十四回マレットゴルフ大会が開催されました。開会式では前回優勝の十七回卒松重みゆきさんのトロフィー返還や競技の説明、組み合わせ発表後始まりました。

飛び交う虫を払いながらコースを回り始めると、あちらこちらから歓声が聞こえ坂上のカップでは悪戦苦闘何回打ったのか忘れる場面も、笑い声が絶えることなく日頃の忙しさから開放され身も心も心地よい二時間となりました。



プレイ後には松川青年の家での昼食そして気になる成績発表、今年は二十三回卒田中啓子さんが優勝されました。生徒さんが栽培した野菜や加工食品を参加賞としていただき、来年もと約束し散会となりました。

また二月の総会、行事には約三十名の参加をいただき今年には下農吹奏班による素晴らしい演奏を聞く事ができました。現在の活動としては創立百周年の記念行事に向けて余興(ヘルム合唱)の練習中です。これからでも参加できる方連絡をお待ちしています。



# 第二十八回同窓会親善

ゴルフ大会を終えて

ゴルフ大会事務局長 高原 保 (高25回卒)

去る六月二十六日に第二十八回同窓会親善ゴルフ大会が、晴天の中、下條村の飯田カントリークラブにて、二百十六名の参加により、早朝六時三十分スタートで始まり、予定通り夕方五時に無事ホールアウトが出来ました。

大会には、東京支会からも多くの皆様に参加してくださり感謝いたします。この大会は、世代を超えた相互の交流と親睦、支会の団結が図られる、同窓会事業の中でも大切なものがあります。夕方五時より、予定通り



### 下農同窓会親善ゴルフ大会成績

支会対抗の部				
優勝	神稲・河野支会 (2年連続)			
準優勝	山本支会			
3位	竜丘支会			
4位	下久堅支会			
5位	喬木支会			
個人の部 (敬称略)				
優勝	桐生 文彦	23回卒	下久堅支会	
準優勝	川上 勝彦	24回卒	下條支会	
3位	福澤 省三	21回卒	東京支会	
4位	古川 啓二	25回卒	山本支会	
5位	恩田 裕二	41回卒	山本支会	
6位	下平 吾郎	15回卒	竜丘支会	
7位	市瀬 久夫	39回卒	喬木支会	
8位	前沢 保人	22回卒	大下条支会	
9位	吉川 守	38回卒	喬木支会	
10位	北原 誠治	18回卒	上郷支会	



表彰式を行い全員で旧校歌を歌い始まり、関島同窓会会長より、来年は、母校の百周年記念事業についての説明と、皆様方からの多大な寄付をいただき感謝申し上げるとの言葉があり、記念式典には多くの皆様に出席していただきたいと、挨拶がありました。その後、横前実行委員長より多くの皆様に参加いただいたお礼の挨拶の後、表彰式に入り優勝者の発表、支会優勝等を無事おえました。

表彰式には、每回学校長も駆け付け、チャリティー金の贈呈を行い、学校長より、母校に対し様々な形でご協力を頂き感謝いたしますとの挨拶がありました。今後とも同窓会親善ゴルフ大会が、盛大にできますように関係の皆様方のご協力をお願いします。



### 下農一〇〇周年記念同窓会

### 親善ゴルフ大会

大会実行委員長 山田 正明 (高24回卒)

下農同窓会の事業として親善ゴルフ大会を毎年開催しています。

毎回二〇〇余名の同窓会員のご参加を頂き、盛大に行われています。

第二十九回を迎える本年度の大会に当たり下農創立一〇〇周年記念事業の一環として位置づけ大会名称を『長野県下伊那農業高等学校創立一〇〇周年記念同窓会親善ゴルフ大会(第二十九回)』として実行委員会を立ち上げ十月に行われる記念事業を一足先に盛り上げて行きたいと思っております。大会詳細は左記の通りです。

- ◆開催日 6月下旬 (3月の実行委員会で正式に決定します)
- ◆会場 高森カントリークラブ
- ◆参加募集については地元実行委員が例年通り案内を致します。

最後に、親善ゴルフ大会を長きに渡り盛り上げて頂

いた歴代の実行委員会の諸先輩方のご労苦に対し、深い敬意と心からの感謝の念を表します。  
一〇〇周年記念親善ゴルフ大会が盛大に行えます様に皆様のご協力をお願いします。

### 令和元年度の支会総会開催状況

事務局が把握しております支会活動状況をお知らせします。本年度も創立百周年記念事業に関する議題が大きく取りあげられるとともに、より多くの会員が参加できるよう諸行事を取り入れるなど工夫をこらす支会も多くありました。

市役所支会	三月八日	次年度東京支会(関東稲丘会)が、九月五日(土)に開催されます。創立百周年記念事業の一環に位置付け借り上げ車両を用意し、
伊賀良支会	四月十六日	
千代支会	六月一日	
東京支会	六月八日	学校関係者も含め同窓生の皆様にも広く呼びかけを行いますので、地元の支会総会とは大きく異なる三部構成の支会総会にご参加いただきましたたくご案内致します。
下久堅支会	六月十六日	
山本支会	六月十六日	
中川支会	六月二十一日	
座光寺支会	六月二十二日	
上郷支会	七月十五日	

### 平成31年度 会員の異動

同窓会員	
三十一年度三月卒業により 正会員になった人	一五六名
三十一年度四月入学により 準会員になった人	一五七名
正会員数	一八、八五八名
旧制	二、四八九名
高校	一六、三六九名
内男子	一一、〇八五名
女子	五、二八四名

# 会務報告

同窓会幹事長 北原 千歳(高31回卒)



会員の皆様方には益々ご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。

五月十八日に同窓会理事・代議員会が開催され、平成三十年度事業・決算報告をはじめ、令和元年度事業計画・予算案が承認され、正式に事業がスタートしました。お陰様で順調に諸事業を終了し、まとめの時期を迎えております。

「創立百周年記念事業」につきましても、内容の具体化が本年度も進められました。第五回実行委員会が十一月二十七日に開催され、総務部・記念誌部・資金部・事業部・母校の将来を語る会等の全ての部門より現在の進捗状況が報告され議事が承認されました。

総務部からは、令和二年十月十日、記念式典・祝賀会の飯田市内での開催に関し、祝賀会は事前振込用紙にて参加者を募集する旨報告がありました。記念式典の際、九十周年記念事業の

式典の際お招きした中国蘇州農業職業技術学院の皆様を招待したスムーズな式典について確認されました。また記念講演会講師の選定も終え報告されました。

さらに前回の九十周年時の記録から、生徒側の組織である校内の校友会委員会及び教職員の組織を立ち上げました。全校を上げて周年行事の準備及び当日の運営にあたるべき組織作りを終え、実際に各係がどのように準備すべきかの計画の段階を迎えております。

すでに事業部に関しては農業学習施設の建設の起工式を終え、建設がスタートしております。六月に完成予定であり、ドローンによる空撮も校友会役員生徒も交え七月に実施する予定であります。施設の一般公開にしましては、十一月一日の休日の稲丘祭一般公開時には、同窓会所有品の展示を兼ね内部を公開する予定です。また関連事業としての記念ゴルフ大会及びマレットゴルフ大会に関する企画も進められております。実行委員会に先立ち、各部会・小委員会等の会議が開かれ、百周年記念事業に向けての企画等進められて

おります。とりわけ、遠山善治元校長先生を編纂委員長とする記念誌編纂委員会は、毎月稲丘会館にて複数回会議がもたれております。百周年にふさわしい記念誌ができ上がりそうであると、矢澤記念誌部長より報告がありました。注文は記念祝賀会と同様に事前振込用紙にて注文をとり、記念式典当日の内容を入れての発行及び発送が決定しております。資金部からは、現在の募金活動の全体としての進捗状況の報告がありました。現

在支会からの入金がなされました。同窓生の皆様には厚く御礼申し上げます。募金の進捗状況から、無事修正予算案が総務部総括より示されました。本校は大正九年四月二十一日に郡立長野県下伊那農学校として、鼎小学校稲井分教場を仮校舎として開校しました。新規に開校記念行事として四月三十日には、遠山編纂委員長を講師としてお招きし、開校当時の学生のエピソードも含め大々的なPRも含め開校記念行事講演

会を計画しております。また創立百周年にふさわしい記念碑につきましても現在計画中であり、除幕式も時期を見ながら実施する予定であります。

会員の皆様方には、百周年記念事業の募金活動へのご理解ご協力に感謝しております。今後とも母校の発展のために、より一層のご支援を賜りたくよろしくお願いたします。特に四月三十日の開校記念行事にかかわる講演会及び十月十日の記念式典及び記念祝賀会につきましましては、多くの皆様のご参加をお待ちしております。一連の周年行事に関する広報は、地方紙の有料広告にて二・三度行う予定であり、その広告にて改めて詳細なる内容を確認していただきますようお願い致します。本校公式ホームページ内に同窓会ページを併設しております。更新がこまめにできておりませんが、この稲丘時報もデジタルデータにて公開しますので、過去のものも含めてご覧いただければ幸いです。

## 平成30年度 決算書

令和元年5月18日 提案承認  
令和元年5月18日 提 承

1 歳入総額	2,401,691円
2 歳出総額	1,454,637円
3 差引残額	947,054円

1 歳入の部 (単位: 円)

科 目	予 算 額		収入済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用 計			
入 会 金	1,288,000		1,288,000	0	8000×161名
雑 収 入	0		67,994	67,994	利息、長尺利用料
繰 越 金	732,953		732,953	0	
終 身 会 費	316,000		312,000	▲4,000	2000×156名
そ の 他	0		744	744	戻し入れ
合 計	2,336,953		2,401,691	64,738	

2 歳出の部 (単位: 円)

科 目	予 算 額		支出済額	比較増減	備 考
	当初予算額	流用 計			
1, 事務費	420,000	0	137,703	282,297	
1) 旅費	120,000		11,935	108,065	支会総会等の旅費
2) 事務費	50,000		45,944	4,056	プリンターインク・ロール紙他事務費
3) 通信費	40,000		35,844	4,156	郵送料・電話代
4) 消耗品費	50,000		1,980	48,020	印刷用紙他
5) 負担金	10,000		0	10,000	地区同窓会負担金
6) 正副会長交際費	150,000		42,000	108,000	各種会議参加費等
2, 会議費	230,000	0	187,578	42,422	
1) 役員会費	10,000		44,500	▲34,500	監査会等
2) 代議員会費	160,000		143,078	16,922	代議員会
3) 幹事会費	60,000		0	60,000	校内幹事会会議費
3, 事業費	1,450,000	0	1,031,232	418,768	
1) 稲穂会費	150,000		136,478	13,522	活動費・総会費
2) 事業推進費	250,000		235,768	14,232	支会総会の参加
3) 稲丘時報発行費	350,000		205,740	144,260	稲丘時報発行費
4) 同窓会林管理費	10,000		10,000	2,382	同窓会林間伐等管理
5) 新正会員歓迎費	150,000		150,000	0	校歌等CD購入用積立て
6) 稲丘会事業寄付金	200,000		200,540	▲540	(財) 稲丘会
7) 親善大会費	120,000		100,324	19,676	親善ゴルフ
8) 100周年費	220,000		220,000	0	100周年事業
4, 雑支出	216,000	0	98,124	117,876	
1) 慶弔費	110,000		23,490	86,510	祝儀・香典・弔電
2) 転退職職員記念品費	60,000		60,000	11,000	饗別
3) 雑費	46,000		25,634	20,366	
5, 予備費	20,953	0	20,953	0	20,953
1) 予備費	20,953	0	20,953	0	20,953
合 計	2,336,953	0	1,454,637	882,316	

# 100周年記念事業について

## 創立100周年記念事業式典及び記念祝賀会

今年度、10月10日（土）に創立百100周年記念事業式典及び記念祝賀会を執り行います。会場については、決定していませんので地方紙での記念式典掲載記事をご参照下さい。

式典前に生徒発表として、下農の歩み（主に10年間を振り返る）を行い、引き続き記念式典を行います。来賓として、中国蘇州農業職業技術学院長（旧名：江蘇省蘇州農業学校）がお見えになります。休憩後、講演会を予定しており、講師は医師・作家の鎌田實さんです。

式典終了後、シルクホテルにて記念祝賀会を行います。祝賀会参加をご希望の方は、稲丘時報にある振込用紙で、振込みをお願いします。その後、二次会も予定しておりますので、参加ご希望の方は併せて申し込みをお願いします。

### 長野県下伊那農業高等学校 創立100周年記念祝賀会

日 時 令和2年10月10日（土曜日）午後1時30分～

場 所 シルクホテル（長野県飯田市錦町1-10 TEL：0265-23-8383代）

振込期限 8月末日（厳守） 祝賀会参加費 1人 6,000円 二次会参加費 1人 3,000円

別紙払込取扱票にて、郵便局よりお振り込みをお願いいたします。

※8月末日までのキャンセルにつきましてはお受けできませんが、それ以降のキャンセルはお受けできませんので、ご承知おきください。

## 創立100周年記念事業 開校記念行事

本校は大正9年4月21日に郡立長野県下伊那農学校として、鼎小学校稲井分教場を仮校舎として開校しました。開校記念事業を行い、創立百周年記念事業の総決算としての10月10日（土）の記念式典が成功するように令和2年4月30日（木）に開校記念行事を行います。

行事では、記念講演会として創立百周年記念事業記念誌編纂員長 元本校校長である遠山善治先生に講師をお願いし、本校開校当時の生徒のエピソード等記念誌に関係させながら本校の沿革を語っていただきます。開校記念行事に併せて「創立100周年記念碑」を校舎前に設置する予定です。

## 農業学習施設建設について

100周年記念事業の一環として、地域と連携した農業学習の活動拠点として、教育活動の充実を目指し学習施設の建設を行っています。予算額の減少に伴い、当初予定していた二階建てを一階建てにして、業者の選定方法については、総務部総括係会で、プロポーザル方式に決定しました。現在、工事が始まり基礎ができつつあります。

### 経過報告

31.4 建設業者 公募のお知らせ掲載【南信州新聞】

期間：4月9日～19日

三社が参加表明

元.5 現地説明会の内容について プロポーザルの実施方法について

元.5 建設業者 現地説明会

元.7 建設業者 プレゼンテーション

事業部会及び総務部総括で投票を行い、審議を経て神稲建設様に決定

元.8 契約

元.11 起工式

元.12 工事着工

2.6 農業学習施設引き渡し予定

今後、農業学習やプロジェクト発表、夏季補習など様々な学習の場として使用できるスペースを確保し、一部に資料などを保管して必要に応じ展示できるような多目的ホールとして利用していきます。

施設の名称については、各種会議及び稲丘祭などで広く募集しました。現在、候補を絞り込み実行委員会で候補を提案しながら、最終絞り込みを行っています。今年度、6月には100周年の記念事業の象徴となる建物が本校の新たな歴史を刻んでいきます。



内観パース



外観パース



建築地鳥瞰図

丘祭では多くの人が足をとめてくれたと思います。私たちが成功できたのも、係の皆や「手伝うよ。」と声をかけてくれる皆がいたからです。一人でやり遂げたのではなく、みんなでやり遂げられたからこそ、内容が濃くとも良いスタートとなったと思います。これを土台にして、素晴らしい百周年の歴史を創りあげたいと思います。

1 令和元年11月28日 (金) 南信州新聞 1面 第22332号



下伊那農業高校の農業学習施設仮称の起工式

## 高 農 同窓生の思いを形に 創立100周年 記念事業 農業学習施設の起工式

下伊那農業高校の卒業生でつくる同窓会(関島伸喜会長)は27日、同校の創立100周年記念事業として学校敷地内に建設する農業学習施設(仮称)の起工式を現地で行った。関島同窓会長や村澤博富美校長、校友会役員、施工業者など約50人が参列。工事の安全を願った。

農業学習施設は、記念事業の一環として建設する。より携われる「下農」に期待を込めた。下農は来年度に創立100周年を迎える。記念事業の実施に向け、5年前から同窓会が中心となり、関係者や地域住民、企業への寄付や協力を求めている。本造平屋建てで、延床面積は143・85平方メートル。多目的利用ができるフロアを中心に、倉庫や収納スペースを整備し、会議や発表、稲丘祭の展示に使用できるように長机などを設置する。来年6月に竣工予定。

式では宮司による清祓の儀に続き、関島同窓会長と村澤校長、福澤社長らの3人が献花をした。

関島会長(77)は関係者の協力に感謝を伝え、経過を説明。建設の様子を生徒が目当たりにしながら、思いだけでなく、先輩の考えを吸収してくれたら。卒業しても気楽に暮らしてほしいと語った。

## 創立百周年に向けて

校友会副会長 2年 高島 風 朱

私は昨年、第六十四回稲丘祭で百周年係の係長を務めさせていただきました。百周年の土台として設置された係なので新しく作り上げるといっても大変でした。決まったことが何もないため、係のメンバーと先生方とを考え、下伊那農業高校の歴史の展示にしました。「下農の歴史を振り返り、また新しい次への扉を開いていこう。」という目標を掲げ、テーマを決めました。それが、ディズニーマンスタース・インクです。扉を開けて物語が始まるころが、企画にびったりだと感じました。

箱にドアを付け、中に歴史を書いた画用紙を貼る。天井には過去の下農のポスターを飾り、学校にある大きい鏡には、マンスタース・インクのマイクとサリィでフォトスポットをつくりました。少しのものをやることでも大変で、自分たちが思い描いていた範囲よりも小さくなってしまいました。稲

### 下農発祥の地を発信

100周年 記念碑修繕して式典

来年度に創立100周年を迎える下伊那農業高校の記念事業（昭和45）年、学校実行委員会は、飯田市名古熊の学校発祥地にある記念碑を修繕し、26日にお披露目式を開いた。99年前の1920（大正9）年4月に、現所在地にあった鼎小分校教場を仮校舎にして開校した。100周年に向け、歴史を



現地で開いたお披露目式

を構成する同窓会の役員や生徒会「校友会」の代表、教職員、地権者ら約40人が参加した。記念誌の編さんを進めている元校長らから学校の歴史や設立経緯などを聞き、100年前の母校の

姿に思いをはせた。現地は鼎小学校、下農の跡地。下伊那農業高校の校舎を新築し、移転した。実行委員長の関島仲喜（76）は「100周年を期に、下農発祥の地に卒業生をはじめ、元校長らに再発信したい」と強調。校友会長の伊藤

平成31年4月28日（日）8面 南信州新聞



正面玄関 校名板揮毫

高6回卒 後藤 政喜様（山本）



## 来年度の「創立100周年」PR

### 下農の実行委が横断幕作成

来年度に創立100周年を迎える下伊那農業高校（飯田市名古熊）の記念事業実行委員会（関島伸喜委員長）は15日、周知を狙った横断幕を作成した。横断幕は校内に設置し、来年度の式典に向け、卒業生や在校生の機運を高めることにしている。

横断幕の設置は内外にアピールするとともに、卒業生や在校生の機運を高めることにしている。横断幕の設置は内外にアピールするとともに、卒業生や在校生の機運を高めることにしている。



節目をアピールする横断幕

令和元年10月19日（土）3面 南信州新聞

## 南信州新聞

第3種郵便物認可

「来年度の機運を高める事業を予定。実行委員会は来年度10月に、同窓会の皆さんが記念行事に取り組みを見て、温かい声援をいただけることを期待している」と話している。

# 100周年記念誌編纂について

記念誌編纂委員長 遠山善治(高26回卒)

私が出農に勤務していた頃、平成26年の5月に今は亡き元校長今牧英世先生より一枚の手書きの紙をいただきました。そこには「下農100周年記念に思うこと」として、100周年事業全般にわたって先生の思いが書かれていました。記念誌については「①開校時の初代校長、芝原彦十先生によって築かれた精神（開拓）が諸先生の努力と地域の協力により今日までに良き伝統として築かれていること。②分校を含めた定時制教育とそこで学んだ生徒たち。①②をしっかりと紹介してほしい」とありました。その時には記念誌の編纂に携わるとは夢にも思っていなかったもので、いずれ編纂委員の方へこの紙を渡そうと思っていたところ、何の因果かその係が廻ってきてしまいました。

今牧先生の思いを平成29年1月の第1回編纂委員会に10名の委員にお伝えしました。その後の1年間は毎月委員会を開催し、編纂の基本方針や計画、記念誌の目次等々編纂の骨子を決め、委員自ら校友会誌・稲丘時報等を読み込んで執筆内容を固めていきました。

この年末までに編纂委員会は20回を数え、各委員は分担箇所の執筆や依頼原稿の回収、さらに発行者の南信州新聞社の担当者へ校正をしているところです。

執筆に当っては、既に発行されている「沿革史五十年の歩み」「八十年学校史赤石永久に崇くして」を横に置き、校友会誌（大正12年発行）、稲丘時報（昭和7年発行）、学園タイムズ（昭和22年発行）の三誌を種本にして、可能な限り当時の職員や生徒の言、関係写真を入れることを心掛けています。さらに、本校ならではの記念誌ということで、飯伊地域の農業の変遷を稲作、果樹、養蚕等九部門ごとに取り上げて紹介します。

一口に100年と言っても、そこには豊かな教育の営みと生徒らの活躍、多くの英傑が詰まっています。これらをどう盛り込んでいくか悩むこともあります。今牧先生の思いを大事にして、1世紀にわたる歴史の事実を時の流れに埋もれないように出来るだけ多く紹介して、令和2年末の発行をめざしています。

同窓生の皆さんで、当時の写真や史料等がありましたら、是非同窓会事務局に連絡をいただきたいと思います。今後ともご指導・ご支援をお願いします。

## 長野県下伊那農業高等学校 創立100周年記念誌

仕 様	A4サイズ 700ページ（予定）	部 数	3,000部
販売価格	1冊4,000円（送料込み）	発 行	令和2年12月末（予定）
振込期限	令和2年8月末日（厳守）		

※別紙払込取扱票にて、郵便局よりお振り込みをお願いいたします。

### 100周年記念誌目次

○巻頭言（学校長 同窓会長 校友会長 他） ○口絵（創立時から現在までの代表的な写真）

#### 校史部門

- 第一章 下伊那農学校の誕生
- 第二章 下伊那農学校の教育
- 第三章 戦時下の教育
- 第四章 新制下伊那農業高等学校の発足（戦後から昭和30年ごろ）
- 第五章 経済成長期の下伊那農業高等学校の教育（昭和30年頃から昭和50年ごろ）
- 第六章 農業を取り巻く環境変化の中で（昭和50年頃から昭和63年ごろ）
- 第七章 学科改編と魅力ある農業教育を求めて（平成元年頃から現在）
- 第八章 新たな教育の創造をめざして
- 第九章 定時制教育
- 第十章 校友会・農業クラブ活動
- 第十一章 座談会
- 第十二章 思い出の記

#### 地域農業部門

概観、稲作、果樹、野菜、花卉、畜産、養蚕、柿、菌茸、林業

#### 資料



# 運動班の活躍

## 柔道班 北信越大会に出場して 園芸クリエイト科3年 塩澤彩花

私は六月十四・十五日に石川県で行われた北信越大会に出場しました。私が一、二年生の頃の先輩方の北信越に出場するかっこよさに憧れ、私も北信越大会に出場したいと強く思い、日々の練習を頑張りました。私たちは三年生三人、二年生一人、一年生二人、マネージャー三人の計八人で活動しています。人数が少ないため思ったようには練習ができません。遠征や合同練習に行く可他校との練習量や技術に差があり、焦りを感じました。技の入りが上手くいかないというライラして部員にぶつけることや泣いて練習を放棄することがありました。



も、班員は優しく、上手いかなかった時にはとことん練習に付き合ってくれて、思いつきり投げさせてくれました。辛い練習の中でも必ず笑顔があり、張りつめていた気持ち少し楽になりました。大会では良い結果を残すことができませんでしたが、今までにないかっこいい自分を出せた気がします。ここまでできたことは今まで指導していただいた顧問の先生や外部コーチの先生、柔道班の仲間、周りの人の支えがあったからだと思えます。これから自分の新たな目標に向かって頑張っていきたいと思えます。ありがとうございます。

### 陸上班

## 北信越大会に出場して アグリサービス科2年 宮澤香音

私は十月二十五日〜二十七日に新潟市陸上競技場で開催された第二十四回北信越高等学校新人陸上競技大会に出場しました。今回の大会では走り幅跳と三段跳に出場し、昨年は悔しい結果で終わってしまっただけ、どちらも表彰台を目標に挑みました。

当日は天気が悪く朝から冷たい雨が降り、走り幅跳はそんな中で競技でした。緊張と寒さで体が思うように動きませ

### 水泳同好会

## 最後の夏 農業機械科3年 上田慶次郎

私は七月二十日から二十一日まで行われた競泳の北信越大会に出場しました。去年のこの大会で悔しい思いをして、次はインターハイに出場すると覚悟を決めて練習を積んできました。順調に練習を積めていたのですが、冬に腰を痛めてしまい、なかなか調子が上がらず練習に打ち込めない時期が二ヶ月ほど続いていました。周りの方々の支えもありなんとか泳げるようになりました。

南信大会から県大会北信越とだんだん調子が上がっていることは明確だったので、自信を持って大会に臨みました。一日目の二百メートル平泳ぎは緊張もあってか自分のレース

で泳げたようになり、予選を八位で通過し決勝で順位を上げ七位入賞することができました。目標である表彰台へ上ることができましたが、納得のいく跳躍ができなかったため、三段跳ではもっと良い跳躍をしたいと思いました。三段跳は最終日の競技でした。初日の走り幅跳同様雨が降っていて更に寒かったのですが、体調も悪くなく調整も上手く出来ていたの跳べる自信がありました。しかし

試技練習時に何故か今までに経験した事が無いほど助走にずれが出てしまい自信があっただけに焦ってしまいました。結果、本番で過去最悪の跳躍になってしまい酷すぎて涙すら出ませんでした。

大会が終わって感じたことはもっと様々な環境で経験を積まないと駄目だという事でした。また、年末に行われた北



### 剣道班

## 県大会に出場して 園芸クリエイト科2年 齊藤真由

私は、松代で行われた新人戦県大会に出場しました。一年生の新人戦から調子が悪く、なかなか良い結果を残すことができませんでした。今までの以上に悔しく二年生の最後の新人戦は必ず良い結果を残すという気持ちで挑みました。その強い思いが叶い南信大会準優勝、県大会ベスト四にすることができました。こうした結果を残せたのは顧問の先生、指導してくださった先生方、応援してくださった保護者の方々、毎日一緒に練習をした仲間たちのおかげです。

改めて感謝したいです。ありがとうございます。今回良い結果を残すことができたが本番は夏の高体連です。高校生活の三年間はあつという間がいよいよ最後の大会が迫ってきました。時間はまっすぐ流れていくので限られた時間を大切に一生懸命練習に励みたいのです。

今年の目標は北信越大会、インターハイ出場です。最後の夏、悔いの残らないよう笑顔で終われるようにがんばりたいです。

# 学芸班 農林家班の活躍

## 全国産業教育フェア新潟大会に出場して

園芸クリエイト科3年 太田 静流

今回も全国産業教育フェアの大会に下伊那農業高校から六年連続で出場できたことをとても嬉しく思います。

今回の大会で私は多くのことを学ぶことができました。私は花本来の姿を美しく見せられる作品を制作したいという思いでデザインを考えました。大会で入賞した作品は私の作品とは対照的であり、花や葉の形を変えるなど技術力が格段に違っていると感じ、私のこだわってきたシンプルな美しさは評価されませんでした。ただただ悔しかったです。全国大会の厳しさを実感しました。

多くの人が作品を作ればそれだけ多くの感性があり、人それぞれ表現の仕方が変わってきます。私の作品を気に入って下さる方もいます。私は多くの人の目に止まり感動していた。だから作品を作るようになった。



今回大会はフラワーアレンジメントと向き合う姿勢を変えられるとても良い経験になりました。ここまで応援し支えて下さった皆さん、本当にありがとうございます。

# 全国大会に出場して

園芸クリエイト科2年 中塚 空美

私たち果樹班は、十月二十三、二十四日に宮城県で開催された第七十回日本学校農業クラブ全国大会に北信越代表として出場しました。昨年も出場することができ、今年度も全国大会に出場することを目標に活動してきたので昨年と同じステージに立つことができました。とても嬉しかったです。

しかし、昨年私たち二年生は演説として数分出場しただけでしたが、今年は自分たちが喋る立場になったので昨年とは比べられないほど緊張しました。そして全国レベルになるとこの学校も面白くて興味深

# 農業クラブ全国大会に参加して

アグリサービス科2年 金子 詩奈

全国大会への出場が決まった夏休み前、先生がおっしゃった言葉が今でも心に残っています。農鑑の勉強にゴールは無い。参考にする本も勉強法も定まらず模索しながら膨大な試験範囲と向き合う日々の中で、その言葉を本当の意味で理解していきました。そのうえ班活動や校友会活動、普段の学校の勉強など手の抜けない事柄が重なり、手一杯でした。そんなとき、励まし支えてくださったのは同じ農業鑑定競技会に出場する

仲間でした。互いに刺激し合って高め合える仲間、だからこそ最後までやり切れたと感じています。また、追い込まれながら妥協を許さなかったのはやはり農業鑑定という競技が楽しいと感じていたからです。勉強をした自分自分の知見が広がるのを実感し、結果にも表れることがモチベーションとなりました。そして迎えた全国大会、日程は三日間で私は福島と山形を訪れました。印象的なのは、ホテルでの食事の際に無意識

ことはできませんでした。もちろん悔しい気持ちはありましたが、大好きな果樹班のメンバーと一緒に全国大会に出場することができたので大満足です。私にとっては二回目の全国大会でしたが、昨年以上にたくさんの方と関わりたくさんのことを学ぶことができたので貴重な経験になり、農業高校に入学し果樹班に入って本当に良かったと思えました。そして来年も出場したいと強く思いました。果樹班には現在三年生がいないので、来年度も私たち二年生六人が最高学年となり研究を行います。来年度も地域の方の声を傾け、希望に応えられるような研究をしていきたいです。そして、私たち

の研究や発表に協力して下さった先生方や一緒に活動してきた果樹班のみんなへの感謝の気持ちを忘れずに、もう一度同じステージに立てるよう、果樹班としての最後の一年全力で頑張っていきたいです。



のうちに一品一品の原材料や調理について深く考えていたことです。食事でさえも農鑑の学習ツールとなってしまうことに衝撃を受けつつも、自分が本気でやってきた

ことの証だと思ひ自信になりました。結果は優秀賞をいただくことができ自分にとって良い経験と大きな自信を得ることができました。

# 南東北大会に参加して

園芸クリエイト科3年 大澤 健太郎

私は今年、福島県で行われた学校農業クラブ南東北大会農業鑑定競技・園芸の部に出場しました。校内で行われている農業鑑定競技には毎年出場するので、農業鑑定競技がどのようなものかわかっていました。そして三年目の今年、校内の競技で選ばれて全国大会に出場

することが決まったのでした。それから私は、夏休みにノートの作成に取り掛かりました。先生から渡された資料を元に写真を印刷し文章の大切なところを抜粋しました。しかし、微生物利用や農業経営・経済、植物バイオの範囲はファイルになかったので自力で作成しました。微生

物利用以外はすべて選択授業などで学んだことのある科目だったのは幸運でした。ファイルの中は主に共通・野菜・果樹・草花の範囲が詰め込まれていた。その四つはほぼ完璧でした。自力で作った科目は情報が足りずあまり良い出来ではありませんでした。

向が変わってきている農業鑑定競技ですが、すべての科目がほぼ偏りなく出るようになりました。前までは野菜・果樹・草花の範囲が多かったので完全に不意打ちをくらいましたが何とか優秀賞を取ることができました。

わるプザーが鳴っていました。次の日の式典で配られた速報に自分の名前が載っていた時の安心感は今でも覚えていま

す。今考えると出場できて良かったし、辛い時に支えてくださった先生には感謝しきれないと感じています。

## 農業鑑定に出場してみよう

食品化学科3年 木下由稀

私は、福島県で行われた学校農業クラブ南東北大会農業鑑定競技に出場しました。全国大会には校内で行われる農業鑑定の点数を学科の中で一番取らなければならず、食品化学科では一人しか出場できません。今年度から農鑑は一回のみとなり、二年間の授業で学んできたことの復習として勉強をしました。その結果、校内で全国大会出場者として選ばれました。先生から範囲が渡され見ると、校内で行われる農鑑は範囲が百個で出題数が五十問なのに比べ、範囲は六百五十個、出題数は四十問という数に驚きました。

自分との戦いでした。本番の二週間前くらいから不安に襲われました。その中で唯一心の支えになったのが先生でした。分からないものは理解するまで教えてくださった。遅くまで居残っていると差し入れをしてくださったり、いっぱいいっぱいになっていた私に心のゆとりを作ってくれました。

本番前日の宿泊先は他校の人と合同の大部屋で、前日ということもあり空気が重かったです。夜は不安で眠れず午前二時まで勉強していました。当日の朝は五時半に起き、会場に着くぎりぎりまで勉強しました。会場は農鑑に出場する高校生でいっぱい、控室は逃げ出し

たくなるような空気で農鑑が行われる体育館まで案内されているときは緊張で手の震えが止まりませんでした。緊張しすぎて本番のことは記憶になく、気が付いたら四十問目の終

わると感じていました。今の考えと出場できて良かったし、辛い時に支えてくださった先生には感謝しきれないと感じています。

す。今考えると出場できて良かったし、辛い時に支えてくださった先生には感謝しきれないと感じています。

す。今考えると出場できて良かったし、辛い時に支えてくださった先生には感謝しきれないと感じています。

す。今考えると出場できて良かったし、辛い時に支えてくださった先生には感謝しきれないと感じています。



「信州黄金シャモプロジェクト」が始まってから三年がたちました。私達アグリ研究班畜産部は、南信州の緑豊かな農村風景を守り続けたいという気持ちから信州黄金シャモプロジェクトに取り組み始めました。一年目では実際に学校での飼育を通して信州黄金シャモについて理解を深めたり、地域への知名度調査を行って、もつと普及する必要があるという課題にぶつかりました。二年目からは、たくさん

の企業や地域の方々との心強い協力のもと、私達が考案したシャモのレシビをレストランでメニュー化することができたり、多くのイベントでの出展で、来ていただいた人の笑顔を見ることができました。そのイベントで私達の取り組みを知った人がさらに声をかけて下さり、新聞や雑誌への取材や「信州黄金

## 北信越大会へ出場して

食品化学科3年 大宮 ほか



シャモについてもっと知りた。と本校へ見学に来て下さる人もいました。プロジェクトを引き継いだ当時、高校生の私達にできる事は限界があるのではないかと不安も感じていました。積極的に情報を発信していくことで地域の方に興味をもつていただき、とても大きな活動として発展していく事ができました。班員のみならず顧問の先生、そして地域の方々との大きな支えによって実現できたことだと思えます。プロジェクトを始めて下さった先輩方からの気持ちに私達も応えられるよう、三年目のプロジェクト発表会へ臨みました。北信越大会に出場し、結果を残すことができましたが、二年連続での全国大会への出場は叶いませんでした。しかし、プロジェクトとしてまた多くの課題をのりこえ、南信州の農

家を救うプロジェクトになると信じています。行動を起こすことの大切さや、高校生だからこそ発信していくことができるということを私は感じたので、今年も様々な成長をしてほしいと思います。

## エコランへの取り組み

農業機械科3年 倉澤裕矢

私は栃木県茂木町にあるツインリンクもてぎで開催されたホンダエコマイレレッジチャレンジ二〇一九に参加しました。エコランとは一〇のガソリンでどれだけ長く走れるかで燃費性能を競います。毎年出場していましたが、私が主体となって制作するのは初めてでした。

今年一月から設計を始め、三月から製作に入りました。製作過程でいくつもの課題が出て来ましたが、チームの仲間と改善策を練り解決しました。本番前日、練習走行をしましたが、エンジンが途中で止まり、走行不能になるトラブルが発生しました。エンジンの燃料系統に不具合があることを突き止めて、分解して整備し、再び走行できるようになりました。

本番当日、車両をテストコースで走らせたところ、前日の不具合が解決したことを確認しました。本番前、チームのミーティングで「エンジンを切った走行してはどうか」という提案が出ました。私はこの提案に凄く悩みました。私たちの車両は前日満足に走行できていないため本番で何が起ころうとおかしい状態でした。しかし、エンジンを切った慣性で走行すれば燃費は上がると考えました。私たちは更なる燃費向上を目指し、エンジンを切った走行することを決意しました。本番は私たちが心配していたトラブルも起こらず、快調な走りを見せ、下農歴代記録の更新をすることが出来ました。後輩には更なる記録の更新を狙ってもらいたいです。

平成30年度卒業生進路状況

(3月31日現在)

卒業生数		人数	比率	計	合計	アグリ サービス	農業 機械	園 芸 クリエイト	食品 化学	
男子	女子									
64人	92人				156	39	37	41	39	
合計	156人									
就職者	管内	54	34.6%	男女	27	1	20	3	3	
		県内	3	1.9%	男女	27	12	0	5	10
					男女	2	0	2	0	0
					男女	1	1	0	0	0
					男女	1	0	0	0	0
県外	7	4.5%	男女	3	0	2	1	0		
			男女	4	0	0	1	3		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	1	0	0	1	0		
公務員	1	0.6%	男女	0	0	0	0	0		
			男女	1	0	0	1	0		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	1	1	0	0	0		
自 営	1	0.6%	男女	0	0	0	0	0		
			男女	1	1	0	0	0		
			男女	3	0	1	1	1		
			男女	13	2	0	5	6		
進学者	四年制 大 学	16	10.3%	男女	5	1	2	1	1	
				男女	13	8	0	4	1	
				男女	3	0	0	3	0	
				男女	3	1	0	2	0	
短期大学	18	11.5%	男女	21	2	10	4	5		
			男女	29	10	0	10	9		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
県農大等	6	3.8%	男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
専 門	50	32.1%	男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
			男女	0	0	0	0	0		
未定	0人	0	0.0%							

進路状況

平成三十年年度(平成三十一年三月卒業)

卒業生の進路状況

進路指導部長 中 島 かおる

ここ数年、飯田下伊那管内の新規高卒者の求人数は増加傾向にあり、本校への県内外からの求人も増加しました。業種別に見ると、製造業が中心となっていますが、人手不足が続く建築土木系・サービス系なども多く、必ずしも生徒が希望する職種とは限りません。また売り手市場ということで、逆に人気企業に

希望が集中することもあり、手放しに喜べない面もあります。さて、そのような中、昨年度の就職状況については、管内では一次試験で全員が内定をいただくことができました。生徒自身の努力だけでなく、地元での同窓生の皆様の活躍のおかげと感謝しております。

また、県外希望者が例年以上

進学 四年制大学(16名)

信州(農)、宇都宮(農)、香川(農)、静岡(農)、愛知学泉(家政2)、愛知みずほ(人間科学)、朝日(法)、金沢学院(人間健康)、岐阜女子(家政)、中部(応用生物)、東海学園(健康栄養)、名古屋文理(情報メディア)、新潟食料農業(食料産業)、南九州(健康栄養)、酪農学園(農食環境)

短期大学(18名)

飯田女子(幼児教育4/家政3/看護1)、信州豊南(言語コミュニケーション)、松本(幼児保育1/看護1)、愛知学泉(幼児教育)、中日本自動車(自動車工学2)、名古屋経営(未来キャリア)、名古屋文理(食物栄養2)、平成医療(リハビリテーション)

大学校(6名)

長野県農業大学校(総合農1/果樹実科2/畜産実科2/野菜花卉実科1)

専修学校(50名)

料理・製菓14(9・5)、自動車整備8、看護・医療系4、音楽関連4、動物関連4、芸能関係4、医療事務・公務員2、フラワー2、ブライダル1、保育1、服飾1、デザイン1、美容1、情報1、ゲーム1、スポーツ1

就職

公務員

泰阜村役場

民間【管内】

KOA七久里の杜4、夏目光学3、化成工業2、コパックス2、小林製袋産業2、多摩川マイクロテップ2、盟和産業2、飯田精機、飯田パルスモ、NSKマイクロプレシジョン、コシブ精密

工具、シチズン時計マニュファクチャリング2、JMC、スタンレー伊那製作所、NEXAS、南信州菓子工房2、旭松食品、信濃雪、天恵製菓、はと錦、丸三玉木屋、井坪工務店、雄長組、コーシン工業、北陽建設、宮澤組、みなみ信州農業協同組合2、トマツ本店、阿南自動車、オートバックス飯田店、ジョイフルテン2、シルクホテル、たかどやモーモー、ちさと東、ADVANCE、エヅカ美容室、輝山会記念病院、日本郵便、富士電機

【県内】

三甲2、コガネイ駒ヶ根事業所

【県外】

カクヤス、三宗、高木英治の店エマ、ホープヘアー、足立牧場、エーシーオー、AZUL by moussey

一方、年末には新たな大学入試制度について相次ぐ実施見送りが発表されるなど、先行き不透明な状況にあります。就職についても、米中貿易戦争の影響やオリンピック後の景気の動向が気になりますが、そのような時こそ、農業高校における「命の教育」を通して豊かな人間性を育み、地に足を付けて様々な経験を積み上げることが大切だと感じています。今後とも地域や社会に貢献し、新たな時代で活躍できる人材の育成に力を注ぎたいと考えております。

編集後記

稲丘時報第八十四号ができあがりました。多くの皆様から原稿を寄せていただきありがとうございます。改めて感謝と御礼を申し上げます。一年間の活動をまとめる関係でこの時期となります。配布に関しても、関係の皆様にはお手数をおかけしますが、よろしくお願いたします。百周年記念事業が今年執行行われます。事務局でも、実感がありません。準備してまいりましたが、農場棟横で農業学習施設の建設が始まりいよいよ記念事業を迎えるという実感が湧いてまいりました。祝賀会及び記念誌については、より多くの方に出席及びご購入をお願いできればと思います。次号では、百周年記念事業についてご報告させていただきます。次号では、(稲丘時報広報係)